

## 1200本のヒマワリと曲川橋

### —吉井エコツーリズムふるさとの会の夏企画—

4月に菜の花で埋まった曲川橋。そこでは吉井エコツーリズムふるさとの会によってフォトコンテストやスケッチ大会が行われました。

その後、同会は4月に整地、5月にはヒマワリの種が蒔かれました。そのヒマワリが、7月下旬から花開き、8月には約1200本のヒマワリが曲川橋の上・下流に咲き誇りました。



春には菜の花、夏にはヒマワリ、そして秋にはコスモス、と計画を進めています。年3回の計画とは言え、その間の育苗、草取りや草払いなど、結構な作業です。ヒマワリは、夏の作業で、汗をふきふきの作業でしたが、橋の上から何人もの地域の方々に声をかけていただき、それらが支えになって、ヒマワリの満開を迎えることができました。もう少し周辺整備を進めるともっと身近に見えていただけののかな。

現在、佐世保市は、石橋の表示を計画しています。本年度は、樋口橋、前岳橋とここ曲川橋の3か所ということです。これには、地域審議

会の皆さんの働きかけ（要請行動）もあっていますが、合併をし、多くの文化遺産が加わった「佐世保市」が、どのようにその保存・継承に当たるべきか、その姿勢を私たちの熱意に答えてくれた現れ、そんな気がします。今後、さらに地域の方がと一緒になって、今ある文化財を支えていく活動を展開しようではありませんか。

【写真】 ①下流側下段 ②アーチを上流側から ③下流側下段 ④上流側上段 ⑤下流側下段